

男衾中学校道徳の学び

道徳主任：小柳龍平

①場面・条件設定を押さえよう

- ・場面、条件設定を押さえることで、『この授業で考えること』からブレずに学習することができます。

②主人公の気持ちに共感しよう

- ・人間は誰しも弱い気持ちを持っています。共感することで、内容理解（範読の内容）が深まります。

③範読は自分事として聞こう

- ・人間は誰しも弱い気持ちを持っています。主人公になりきって範読を聞くことで、自分の意見や考えがはっきりし、疑問も生まれます。自分の考えをしっかりとつことも道徳の授業で大切なことの1つです。

④話合いに積極的に参加しよう

- ・仲間の意見を最後まで聞いてから発言しましょう。
- ・自分の考えを発信しましょう。人間はアウトプットすることで思考が深まり、ぼやっとした考えが具体的な考えに変わっていきます。
- ・仲間の意見をしっかり聞きましょう。特に、自分と違う考えの人の話を聞きましょう。否定するのではなく、『なぜそう考えたのか』聞いてみることで違った考えや価値観に触れることができ、色々な角度から物事を考えられるようになります。
- ・「でもさ」・「けどさ」など、つなぎ言葉を使って話し合いをするようにすると話し合いが深まりやすいです。

⑤最後に授業を振り返りましょう

- ・『今日のねらいがなんだったか』『始めはどのように考えていたか』『今はどんなことを考えているのか』この3つを押さえて振り返ると、自分の考えの変容が分かります。
- ・自分以外の人への振り返りにも耳を傾けましょう。ポイントは、普段あまり関わりのない人の考えに注目することです。そうすることで新たな価値観に触れることができます。それを受けて振り返りを直してもいいです。

